



プラネタリウム特報 「星の劇場ニュース」

資料登録番号
1994-1152

当館は、前身である大阪市立電気科学館時代の貴重な資料を、多く保存しています。そのうちのひとつ、プラネタリウム特報「星の劇場ニュース」は、1939(昭和14)年から不定期に発行されていたリーフレットで、電気科学館の開館当時を知る貴重な資料です。そこには天体現象の情報やプラネタリウムでのイベント情報が掲載されていました。

1939(昭和14)年1月発行の第1号から、1941(昭和16)年1月発行の第10号まで発行されており、いずれも大切に保存しています。いま見ると興味深いものが多いのですが、例えば写真2は1939年(昭和14)年6月10日に発行された第2号です。6月10日という、「時の記念日」当日。リーフレットでは時報の話や夏至について詳しい解説があり、さらにプラネタリウムでの太陽(平均太陽※もふくめ)の動きについても、紹介しています。

※太陽が黄道上を動くみかけの運動は、一定ではありません。そこで、太陽の運動の平均速度で赤道上を一定に動く仮想の天体「平均太陽」を考え、1日の時間を一定にしています。電気科学館のカールツアイスⅡ型プラネタリウムでは、太陽投影機とは別に、この「平均太陽」を再現する投影機もあり、当時のプラネタリウムで活用されていたことがうかがえます。

西野 藍子(科学館学芸員)



写真1.
プラネタリウム特報「星の劇場ニュース」第1～10号



写真2.
1939年6月10日発行「星の劇場ニュース」第2号



写真3. カールツアイスⅡ型
プラネタリウム